

各 位

2023年5月18日
株式会社マイネット
(コード番号:3928)

2023年12月期 第1四半期及び通期決算説明会 質疑応答要約

Q1：Q2の固定費減少はどの程度になりそうでしょうか？

A1：具体的には回答しかねる。Q2以降は株式会社滋賀レイクスターズのPLが連結から外れる点。人員合理化については6月末完了予定なので、Q3以降に影響が出てくると想定している。

Q2：スマートフォンゲームの新規タイトル供給が細っているので短期的には買い取り、運営受託、部分受託はいいとしても長期的なビジネス基盤が不安です。この点どのような考えをお持ちですか？

A2：セカンダリ市場についても、今後も一定の規模感はあると試算している。またゲーム市場全体だと国内市場だけでもセカンダリ市場の数十倍の規模があることは確認できている。対象市場を広げることで、ビジネスの基盤を安定させていきたいと考えている。

これまで主として来たセカンダリ市場だと、ゲームタイトルの売上に一定の減衰が発生する。そういった類ではない周辺事業も行うことで、ゲーム事業全体のYoYの推移も安定性が増すのではと考えている。

セカンダリ市場という強みに周辺事業を加えることで総合力を増していきたい。

Q3：ファンタジースポーツ事業の年間売上高のポテンシャルはどの程度まであり得ると考えればよいでしょうか？

A3：現行のスポンサースキームにおける売上高と、法律等の各種インフラ整備後に見込まれている3,000億円市場と、数段階分かれるのではっきりと数字は申し上げられない。

ただし、ポテンシャルは大きいと目論んでおり、ポテンシャルはどちらかというとなら3,000億円市場に近い側で考えている。

北米マーケットで見ても、名前が残っている事業者は片手で収まるほどである。

市場が立ち上がり、規模が伸びるタイミングに先行して、我々がユーザーレーションの強化やサービスそのものを洗練させておくことで、より大きなシェアで成長が見込めると考えている。

Q4：資本については現状より積み増す必要があるとお考えですか？

A4：積み増しがあるパターン、ないパターン等、複数のパターンを常にフラットに視野に入れている。どちらに動いても経営が今日ご説明した内容で進むように準備はしている。

なお、決算説明会動画も公開していますので、以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/HfnZ39VUBA4>

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR担当

E-mail：ir@mynet.co.jp

以上